

平成22年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益財団法人 武蔵野市国際交流協会						
①	指標名	各事業における定員に対する応募者比率の向上			目標値	定員に対する応募者の割合を100%以上とする。	実績値	90.9
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率		達成状況	未実施・ 未達成 達成
	(単位: %)		96.6	91.40				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 定員数が妥当か、事業の効果が十分得られているかの観点から目標値を設定した。 日本語コースなど7事業の定員1,242名を基本にチェックした。 広報活動はMIAの役員・会員やボランティアを通じたり、メディアを十分活用して行った。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 応募者の多寡に関わらず、各事業の参加者は強い興味と熱意を持って参加している。また、80か国を超える在住外国人の社会参加の機会として、また外国を地域に紹介する機会として必要性も高い。 今後、数値的な面だけにとらわれず、内容や必要性の面も評価するべきである。</p>							
二次評価	<p>内容や必要性は評価するが、実績が下がり続けていることを課題と捉える必要がある。費用対効果の観点から利用者の増加に努められたい。</p>							
②	指標名	自主財源比率の向上			目標値	歳入総額に占める補助金額の割合を前年度比で1ポイント以上下げる。	実績値	94.1
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率		達成状況	未実施・ 未達成 達成
	(単位: %)			88.7				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 実現可能な会費収入、自主事業収入、受託事業収入などの増加策を検討した。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 22年度は、自主財源の増加額以上に補助金が増加（新たな職員派遣の件費）したため、目標値を達成することができなかった。 23年度以降は平準化される見通しである。</p>							
二次評価	<p>補助金増による目標未達成は理解できるが、今後とも自主財源比率向上に努められたい。</p>							
③	指標名	公益財団法人の安定した運営			目標値	MIAの基本方針の着実な実施	実績値	—
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:)							
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 MIA基本方針についての実施内容を確認した。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 当面、基本方針にある市からの補助金を3ヵ年削減の方向で見直していく方針に基づき、予算を編成している。 財政運営については、顧問会計士の指導を仰ぎながら、公益法人会計基準に即して適切に行っている。</p>							
二次評価	<p>管理費の見直しを行うなどの取り組みを評価する。今後も基本方針の着実な実施に努められたい。</p>							